

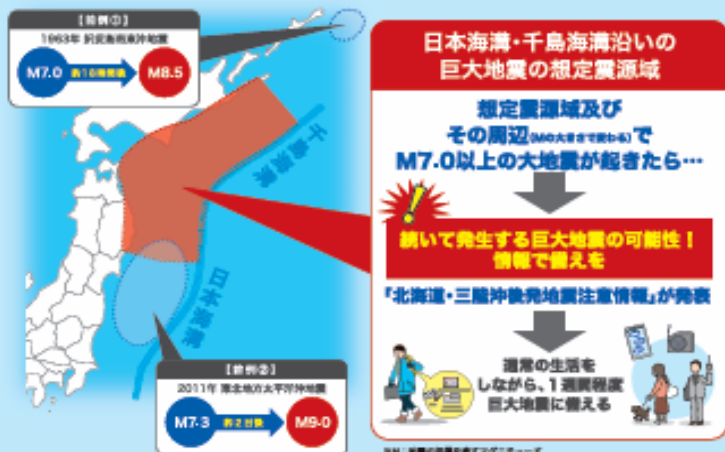


「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表 防災意識を高めて、通常生活を！

続いて発生し得る巨大地震にも備えよう ～北海道・三陸沖後発地震注意情報～

日本海溝・千島海溝沿いの領域では、一度M7クラスの地震が発生した後、続いて大きな地震(後発地震)が発生した事例があります。実際に後発地震が発生する確率は低いものの、発生した場合に一人でも多くの命を救うため、想定震源域及びその周辺でM7.0以上の地震が発生した場合には、大規模地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっているとして「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されます。

情報が発表されたら、地震発生から1週間程度、社会経済活動を継続した上で、日頃からの地震への備えの再確認に加え、揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした際に、すぐに避難できる態勢を準備しましょう。



北海道・三陸沖後発地震注意情報の留意事項

- 後発地震の発生可能性は、世界的事例を踏まえても百割に1回程度で、1週間のうちに、必ず後発の大規模地震が発生するとは限りません。
- 情報の発表がないまま、突発的に巨大地震が発生することを想定し、日頃から地震への備えを行うことが大切です。
- 国や自治体から、事前避難は呼びかけませんが、地震発生から1週間程度、平時よりも大規模地震の発生に注意し、揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした際に、すぐに避難できる態勢等を徹底しましょう。
- 1週間という期間には、人々が対応を続けられる限度等を加味しているため、1週間経てば後発地震が発生する可能性がなくなるわけではありません。引き続き、地震の発生に注意しましょう。

4月20日16時52分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード7.7、最大震度5強の地震が発生しました。この影響で一時津波警報が出され、津波が観測されました。被災された皆さんにはお見舞い申し上げます。なお、復旧作業などを行う際には、身の安全を守りながら行うようにして下さい。

この地震を受けて、気象庁と内閣府は、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。これは、昨年12月の青森県東方沖地震を震源とする地震以来の注意情報です。今後1週間、通常の上社会生活を行いながら、すぐに避難できる準備をするように呼びかけています。

長野県でも地震が相次いでいます。防災意識を高め、冷静な行動で、「正しく恐れ、常に備える心構えを持って行動すること」が求められています。

内閣府ホームページ防災情報のページより抜粋 (<https://www.bousai.go.jp>)

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されましたが、必ずしも巨大地震が発生することではありません。事前避難などは求めないどころか、鉄道や店舗などの休止も求めません。通常の上社会活動を続けながら対策を取ることになります。「あくまでも平時でも切迫している巨大地震の可能性が高まっている」という位置づけです。